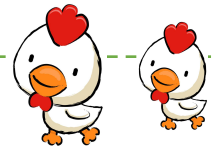




テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2017年2月5日 第75号



2017年に思う・・・

新しい年を迎え早や一ヶ月が過ぎました。

米ではトランプ氏が大統領に就任し、欧州では4月から5月にかけての仏大統領選挙でマリーヌ・ルペン氏が優勢と伝えられています。一方、日本においても日本会議なる右派勢力に支えられた安倍政権の支持率は高止まりしたままです。日本だけでなく世界的に右派勢力の台頭が進んでおり、先の見えない波乱含みの年となりそうです。

波乱含みといえば、1月27日の報道によると物価水準の下落で4月からの年金支給額が3年ぶりに減少とのことでした。これまで4年間にも渡ってデフレ脱却などと大言壮語してきたアベノミクスの結果がこの有様です。もはやアベノミクスは破綻、そして年金支給額の減少という形でそのツケを私たち国民が払わされることになってしまいました。政策失敗の負担はいつも国民の側に押し付けられてしまいます。

今年で誕生から71年目となる平和憲法を守る闘いを続けていくことはもちろん、私たち自身の生活を安倍政権から守っていく闘いも今年には必要となりそうです。 (ちかまつ 松浪孝史)



テアトル9新年会



1月15日、36名の参加者で行われた学習会の後、30名の参加で新年会を行いました。自由に感想や意見を話し合う中で、例会選びの意見が多く出されました。平和とは少し離れてしまいましたが、会員にとっては例会選びが一番の関心事だということがよくわかりました。昨年、全国幹事になった大谷さんへ、全国の動きについての質問もありました。「テアトルニュースに原稿を投稿したので、参加する資格ができたかな？と初めて参加しました」という方等、初参加の方が数名おられて嬉しかったです。次回は学習会の参加をお待ちしています。(こぶたちちゃん 菅原澄子)

テアトル9新年会に参加して

1月15日(日)テアトル9の新年会に参加しました。

第一部では鶴嶋さん、大谷さんの「平和と演劇の集い」への取り組みなどについてお聞きし、第二部では一人ひとりの例会や演劇活動についての思い、最近の社会の動きや自分の近況等について打ち解けた雰囲気の中で語り合いました。

鶴嶋さん、大谷さんのお話からは言葉の持つ力、言葉は時を超えて人を支えるということ、これまでの芝居を振り返る中で強く感じました。

また、例会決定の仕組みなどをお聞きする中で、お芝居というのは創る人、伝える人(事務局や運営サークルの人など)、観る人が共に力を合わせて創り上げていくも

ので、そんな思いを共有できればと思いました。

二部ではマスメディアとのかかわりや天皇制の話なども出ました。皆さんが本をよく読んで、ご自分の意見を持っていて大変励まされました。私自身は30年ほど前に初めてお芝居と出会い、少しだけ鑑賞運動にも参加しましたが、みなさんの熱い思いを聴く中で30年前の感動を思い出し、久々に楽しい時間でした。

最近聞いた話では、今の人たちは群れているけれど心からのつながりは多くないとのことでした。お芝居や平和を核にしつつ、共に励まし合い、共に生きる場がここにあるのではと思う新年会でした。皆さん、本当にありがとうございました。(ちかまつ 圓田重則)

お芝居と平和 ⑨ 日本の今を描く若き劇作家 中津留章仁

2015年9月17日、安保法案が強行採決された日、中津留さんの「そぞろの民」が上演真っ最中でした。芝居は「暗闇の中、国会の特別委員会で、安保法制の法案が、強行採決する騒乱の音声が聞こえる。」このようなブローグで始まります。この芝居が上演されていたことを知ったのは、半年の後、テアトル2016年2月号に掲載された戯曲を読んでからです。驚きました。こんなにリアルに今の日本の情勢を予見する劇作家がいたとは・・・そして、去年は中津留作品が怒涛のように上演されました。全て書き下ろし作品です。4月に青年劇場が「雲ヲ掴ム」、9月には劇団民藝が「箆棒(べらぼう)」、この2作品、残念ながら見る機会がありませんでしたが、12月には劇団東演が沖縄の基地に関わる人たちの葛藤を描いた「琉球の風」を見ることが出来ました。「そぞろの民」と同様に、立場や考え方の異なった人たちのそれ

その思いや怒りを込めた激しい論争劇でした。どのような生き方が正しいのか、そのような問いかけではありません。なぜこのような対立が起きてしまったのか、そこに眼を向けて欲しいと叫ぶ中津留さんの熱い思いが感じられました。切り捨てられる人たち、切り捨てる側ではないにしても沈黙し、見て見ぬ振りをする人たち、その人たちが多数で在りつづければどうなるのだろうか・・・

心安らかに豊かな気持ちに満たされる芝居もあれば怒りを込めた芝居もあります。時々「君たちの思うようにはならないぞ——！」と観客席で怒りを共有したい。この怒りが生きてゆくエネルギーになるような芝居に喝采したくなります。2017年が「怒りのち笑顔になるように！」新春の願いです。(ハーモニー 広沢正雄)



劇団あすわかひょうご自主公演の案内 「シン・ケンポウ」

日時：2月18日(土)

場所：神戸アートビレッジセンター(新開地)

1部 「せんそうがおきるまで」13時30分～

2部 「憲法が起きるまで」16時30分～

入場料 ¥600 1部・2部通し ¥1,000

※「明日の自由を守る若手弁護士の会」(通称“あすわか”)の兵庫支部で「劇団あすわかひょうご」を結成。今までに「憲法ができるまで」「憲法が昏睡るまで」を上演。

「共謀罪」の学習会をします！

日時：3月26日(日)PM2時00分～

講師：坂本知可 弁護士&あすわかメンバー？

場所：演劇鑑賞会事務局(サンパル8階)

参加費無料



元サンテレビニュースキャスター

「西澤暲さんのお話を聞く会」に参加して

「神戸に平和記念館をつくる会」主催で、元サンテレビのスポーツキャスター、西澤暲さんの話を聞いた。話し初めはスポーツキャスターらしく、阪神タイガースの公式戦の様子を、野球に詳しくない人にも、試合の熱狂が伝わってくる話に耳を傾けた。

西澤さんは1934年生まれ。戦争を体験している。お父さんとお姉さんを神戸大空襲で亡くしている。空襲の話になると口調は柔らかいが、目の光が厳しくなった。神戸にも東京に負けない空襲があった。知らなかったでは済まされない事実。西澤さんの人柄と共に、忘れてはならない話だと思った。

2016年12月10日新長田勤労市民センターにて

(エバレット 小谷博子)



例会場「テアトル9コーナー」にお立ち寄りください！

お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか？下記世話人までご連絡を

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378